

プロ棋士・森九段 ちびっこに将棋の手ほどき

12月17日、中央公民館でこども将棋教室が開催され、将棋に興味のある子どもたち30人が参加しました。

当日は四万十市出身のプロ棋士・森九段が講師として招かれ、複数の人と一斉に対局する『多面指し』など、熱心な指導を行いました。プロ棋士と対局する滅多にない機会に、子どもたちは目を輝かせていました。



▲丁寧な指導で将棋の楽しさを伝える森プロ

医療功労賞に医師・黄さん

長年にわたり地域医療に貢献してきた方を讃える第45回医療功労賞に、大柵診療所所長の黄永彦さん(物部町大柵)が選ばれました。

台湾出身の黄さんは、郷里の大学教授などを歴任後、妻の林千佳さんの父が旧物部村立高尾診療所の所長だった縁があり、昭和60年、同診療所に勤め始めました。平成6年に移転して大柵診療所となったからは、所長として診療所に住み込み、昼夜を問わず地域医療の発展に尽力されてきました。



▶表彰状を手にした黄さん



1月28日、土佐山田スタジアムでこどもスポーツ教室が開催され、子どもたち52人が参加しました。

当日は、高知県からJリーグを目指すサッカークラブチーム『高知ユナイテッドSC』の選手らが講師として参加し、体を動かしながらの楽しいレクリエーションや、小さな子どもでも楽しめるボールを使ったゲームなどが行われました。

初対面の子ども同士が多い中でしたが、『高知ユナイテッドSC』の選手らによる楽しい雰囲気づくりのおかげで、子どもたちはすぐに打ち解け、歓声を上げながらグラウンドを走り回っていました。元気いっぱいスポーツを楽しむ子どもたちの姿に、見ている大人もエネルギーをもらったようです。



1月29日、土佐山田スタジアム周辺で、第11回香美市子ども会連合会ピットリタイムマラソン大会が開催されました。

当日は、曇りでしたが穏やかなマラソン日和となり、参加者らは息を弾ませながら、それぞれが設定したタイムを目指して元気に走りました。

結果は次の通りです。

【大会結果】

- 1位 半田春希(大宮小)
タイム誤差-5秒
- 2位 登庸朱(山田小)
タイム誤差+8秒
- 2位 横田望愛(舟入小)
タイム誤差-8秒

火災から文化財を守れ!

1月26日、土佐山田町の八王子宮と香北町の大川上美良布神社で、防火訓練が実施されました。

これは、昭和24年1月26日に、国宝である奈良県の法隆寺金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づき定められた文化財防火デーに合わせて行われたものです。当日は、消防本部や地域住民、消防団、行政職員などが参加し、消火器を使った消火活動や放水訓練、バケツリレーなどを行いました。



積丹町の児童が香美市で交流

1月12日から15日にかけて、北海道積丹町から、小学生7人(美国・日司小学校)と引率者4人が香美市を訪れました。姉妹都市交流の一環として行っているもので、今回で2回目。

児童らは、フラフ作り体験や龍河洞探検、アンパンマンミュージアム見学等を行いました。龍河洞では、暗闇の中をライトだけで進んでいく探検コースに挑戦し、初めての体験を楽しんでいました。

2日目に行われた楠目小学校との交流では、学校に行くバスの中で、緊張のためか、何度も自分の発表原稿を確認している児童の姿がありました。しかし交流が始まると、あっという間にその緊張もなくなったようで、給食の時間にお互いの地域のことを話したりするなど、すっかり仲良くなっていました。



▶いざ、ドキドキの龍河洞探検へ!



12月17日、物部町大柵の商店街で、大柵中学校生徒による物部っ子商店が開催されました。

これは、大柵中の全校生徒29人が、地域の魅力を発信しようと企画したもので、湖水祭やべふ峡など、物部が誇る6つの魅力を、物販や展示を通じてアピールしました。

当日は、商店街の3つの店舗で、ユズのマーマレードやしめ縄、田舎ずしなど、地域の自慢の品々を販売しました。商店街は大勢の買い物客でにぎわい、元気な声を上げて売り歩く生徒らから、次々と商品を買って求めていました。



▲香美市子ども会連合会の皆さん

11月6日、高知市で開催された『子ども・若者育成支援強調月間』高知県大会で高知県優良子ども会等知事表彰が行われ、香美市子ども会連合会が知事表彰を受賞しました。

香美市子ども会連合会は、各地域で行われる子ども会行事や校区子ども会活動を支援する活動を精力的に続けてきました。また、土佐山田まつりや奥物部湖水祭、ピットリタイムマラソン大会など、子ども会行事にも熱心に取り組み、子どもの健全育成や、地域の活性化に貢献しています。